

連携室だより

鹿児島医セン

鹿児島医療センター(心臓病・脳卒中・がん専門施設)

2023.3

vol.203

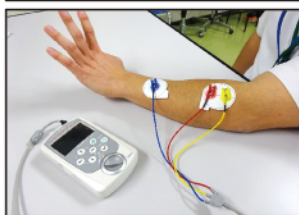
脳卒中リハビリにおける当院の取り組み

脳 卒 中 相 談 窓 口 を開設しました!

脳卒中ガイドラインでは、廃用症候群を予防し、早期のADL向上と社会復帰を図るために、十分なリスク管理のもとできるだけ発症早期から積極的なリハビリテーションを行うことを推奨されています。(エビデンスグレードA)

- 【主な訓練内容】
- ・長下肢装具・短下肢装具での立位・歩行訓練
 - ・電気刺激療法(ives)での促通療法
 - ・基本動作訓練やADL訓練

患者の状態に適切なリハビリを選択し取り組んでおります。



(文責:理学療法士 喜久川)

鹿児島医療センター AIS新聞 Vol.2, Ver.2

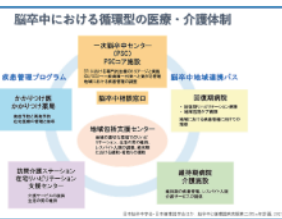
PSC (primary stroke center) コア施設認定について

日本脳卒中学会では、地域医療機関や救急隊からの要請に対して24時間365日脳卒中患者を受け入れ、急性期脳卒中診療担当医師が可及的速やかにrt-PA 静注療法を含む診療を開始できる事などを要件として、「一次脳卒中センター (PSC: primary stroke center)」の認定を行っております。

このなかで「PSCコア施設」は、血栓回収療法に対応できない医療機関からの患者さんも常時受け入れ、県下PSCの中核的な役割を担うとともに、将来的には地域における疾患管理の調整まで担う事が期待されています。

この度、皆様のご協力により当院も2022年度から「PSCコア施設」に認定されました。今後も地域の総合的な脳卒中センターとして活動してまいりますので、引き続きご協力頂きますよう、よろしくお願ひ致します。

(文責:医師 松岡)



【PSCコア施設認定基準】

1. 一次脳卒中センター(PSC)に認定されていること
2. 脳血管内治療専門医と脳血栓回収療法実施医が合計して常勤3名以上
3. 血栓回収治療実績が年間12例以上あること
4. 施設において24H/7Dで血栓回収治療に対応可能であること
5. 脳卒中相談窓口を設置すること

脳卒中予防 レシピ



脳卒中の原因の一つとして動脈硬化があげられます。動脈硬化を予防するために抗酸化作用のあるリコピンを含むトマト缶と血中の中性脂肪を下げる作用のある不飽和脂肪酸(DHA&EPA)を多く含む青魚を使ったレシピをご紹介します。

抗酸化作用&DHA&EPA 豊富さのトマトソースかけ

- 材料(2人分)
- さば…60g×2切
 - 酒…2g(小さじ1/3)
 - こしょう…少々
 - 薄力粉…10g(小さじ3強)
 - 油…2g(小さじ1/2)
 - 有塩バター…2g(小さじ1/2)
 - ★有塩バター…4g(小さじ1)
 - ★トマト缶…100g
 - ★マヨネーズ…30g
 - ★即しにんにく…2g
 - ★ツナ顆粒…1g
 - ★塩…0.6g
 - ★こしょう…少々



- 栄養成分(1人分)
- エネルギー…192kcal
 - たんぱく質…14.4g
 - 脂質…12.9g
 - 炭水化物…9.8g
 - 食塩相当量…0.7g

- 作り方
- ① さばに酒・こしょうで下味をつけ、薄力粉をまんべんなくまぶす。
 - ② ①を油と有塩バターをひいたフライパンで焼く。
 - ③ 別の鍋に★の材料を加えて混ぜ、火にかけて煮込む。
 - ④ 焼いた②に③のソースをかける。

- ワンポイントアドバイス
- ・トマトの酸味を飛ばすため、じっくり煮込むのがポイント!
 - ・青魚は、あじやかんぱち等に種類を変えても美味しいです!ぜひ作ってみてくださいね!



(文責:栄養管理室 園田)

【目的】
脳卒中を発症した患者さま・ご家族はリハビリテーションを含め長期の治療や入院、自宅療養を送ります。脳卒中相談窓口は、患者さま・ご家族が入院生活や自宅療養・社会復帰・社会資源・地域との連携などに関して、不安なこと、お困りごとがあった際に、病院内に相談窓口を開設し、脳卒中看護認定看護師をはじめ、研修を修了した脳卒中療養相談士へ相談できる環境を整えております。

- 【相談できる内容】
- ・医療連携・地域連携について
 - ・介護・福祉・家族支援について
 - ・リハビリテーションについて
 - ・心理サポートについて
 - ・両立支援について
 - ・緩和ケアについて
 - ・疾患管理について
 - ・地域包括ケアセンターとの連携
 - ・生活困窮者支援
 - ・障害者手帳
 - ・患者会との連携
 - ・その他

場所:メディカルサポートセンター(正面玄関横)
相談時間:9時~17時
TEL:099-223-1151

(脳卒中看護認定看護師は毎週火曜日に活動を行なっています)

1人で抱え込まずに、是非、相談してくださいね。
(文責:認定看護師 箱丸)



ドラマ「silent」と脳卒中

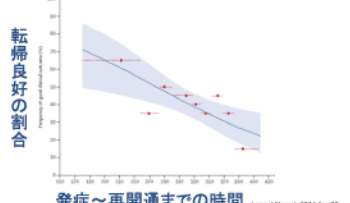
日本で大きな話題を呼んだドラマ「silent」毎週涙した方々も多いでしょう。「音のない世界」を生きる事の苦悩や葛藤を巧みに描いていました。

さて、脳卒中を診る人間は、例えば今まで普通に話していた人が突然にして「サイレント」、つまり「言葉が出なくなる=失語となる」ととても急ぎます。

それは失語が「皮質症候」と考えられるからです。「皮質症候」とは失語や失認、失行など、脳が広範にわたって障害、ひいては脳血管主幹部が閉塞していることを示唆し得る症状です。

このような場合、事態は急を要します。rt-PA 治療では5分の遅れで5%ずつ、血管内治療では再開通まで2分遅れると1%ずつ悪くなると言われます。

FACEスケール(Vol.2, Ver.1参照)で診るような麻痺症状に加えて、失語がある場合には躊躇せず、すぐに相談してください。



(文責:脳内医師 山下)

職場紹介

【東3階病棟】

東3階病棟は、産婦人科を中心とした女性患者の病棟でしたが、平成24年3月より、泌尿器科、平成26年10月から、皮膚腫瘍科・皮膚科が新設されました。現在は、婦人科、小児科、泌尿器科、皮膚腫瘍科・皮膚科の診療科として機能しています。

各診療科のカンファレンスで、相談しあえる環境も整っており笑顔あふれる活気ある病棟です。今回、各診療科がどのような治療や看護を行っているのかご紹介したいと思います。

婦人科では、子宮がん、卵巣がん、子宮筋腫などの婦人科疾患の治療をはじめとする手術・放射線治療・化学療法を行っています。手術は、主に開腹手術・腹腔鏡下手術が多く、5～10日程度で退院になります。また化学療法も生活に支障がないように短期間の入院となっています。

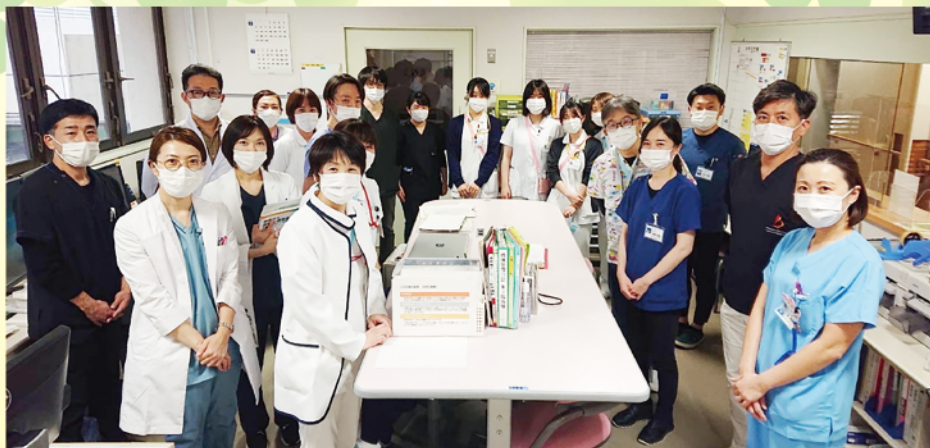
小児科では川崎病、RSウイルス感染症、肺炎の疾患をはじめ、化学療法の治療も行っていきます。また、入院にあたっては、患児や家族の気持ちに寄り添い、慣れない入院環境で点滴、内服、吸入などの治療を安心して受けることができるよう医師とコミュニケーションを図りながら、チームで情報共有・連携を図り対応しています。

泌尿器科では、がん治療を主に行っており、経尿道的手術などを行っています。入院期間は7～14日程度です。また化学療法では、患者さんの状態に合わせて免疫チェックポイント阻害薬などを使用しながら治療の選択を考えています。他にも排尿障害を生じる疾患も多い為、尿管ステント治療も行っており、術後、排尿自立を促せるような体制として病棟スタッフによる支援も行っています。

皮膚腫瘍科・皮膚科では、鹿児島県全域からの紹介を受け、院内皮膚がん登録件数は日本一となっています。悪性黒色腫をはじめとする基底細胞がん・有棘細胞癌などの悪性腫瘍・先天性母斑などの良性腫瘍に対し、切除手術や放射線治療・化学療法を行っています。

東3階病棟は、0歳～90歳代と年齢層も幅広い患者様が入院して来られます。混合病棟で入院も多く、幅広い知識や技術・スキルが求められ、年齢に応じたコミュニケーション能力も必要とされます。また、各診療科のがん治療に関しては、治療・精査・緩和ケアへの移行まで行えるように心がけており、個々の症状・希望に沿って近隣病院と連携を図り調整しています。患者様が安心して良質な医療を受けて頂けるように、努めてまいります。

(文責：東3階病棟師長 野内 万理子)



部門紹介

薬剤部



● 薬剤部門の仕事の概要

担う業務は、中央業務である医薬品の管理・供給、調剤、院内製剤、抗がん剤の無菌調製、マスに対するDIに加えて、患者個別のサービスとなる、総合的処方監査、TDMによる投与設計、個別DI、入院・外来患者への服薬指導、手術等のための入院前患者支援、病棟薬剤業務（持参薬含めた入院時服薬計画処方支援、検査支援、総合処方監査、投与ルートチェック、副作用モニタ、医薬品副作用被害救済制度申請の支援など）、臨床研究・治験のサポートなど医療の本質である対人業務を行っています。

加えて、NST、ICT、AST、緩和、RST、褥瘡などの医療チームでの活動、患者さん向けの各種教室、医療安全活動のほか院内各種委員会で活動しています。

保険薬局を含めた医療施設と協働・連携した医療サービスを提供するために、当院外来でがん化学療法を受けている患者さんに対しては、当院薬剤師から「外来化学療法薬剤管理情報提供書」を交付しています。ホームページで公開しているがん薬物療法レジメン情報と合わせて薬物療法の協働管理を進めております。

入院治療を受けた患者さんには、「薬剤管理サマリー」を患者さん同意のもと文書により交付しております。これにより入院治療に引き続いて外来薬物療法においても、病院の医師と保険薬局等の薬剤師が単に分担するのではなく、協働して連携することを進めています。次年度においては内服抗がん剤に関するトレーシングレポート等の運用も検討中です。今後ますます当院以外の医療機関の皆様のご支援を賜る機会が増えると存じます。どうぞよろしくお願いいたします。

● 薬剤師パートナーである薬剤助手

当部の人員構成の特徴として、助手7名、薬剤師17名と、助手の割合が高いことが挙げられます。助手は対物業務（医薬品の集約、錠剤の一包化パックからの抜錠、持参薬鑑別の準備、注文、払い出し等）のほぼ全てを担っています。これにより薬剤師は対人業務に注力できてくる環境が得られ、つまりは助手が薬剤師の補助的存在ではなく、薬剤部が患者ケアを担う上で必要不可欠な薬剤師パートナーと言える状況です。この状況では十分な助手業務の医療安全管理、労務管理、モチベーション維持、職務満足度向上等のための仕組みが必要となります。業務の均一化、命令系の整備・明示、健全な意見交換の機会、適切な処遇、育成プログラムの整備等、様々な手当が必要となるものと思っています。

当部の育成プログラムの一部を紹介しますと、テキストと講習会の整備、定期・必要時のスキルチェックや危険予知トレーニング等を行なっています。これにより、助手が関与したインシデントは極めて低く抑えられています。健全性が前提のプロとしての緊張感とやりがいを感じる職場を目指しています。

（薬剤部長 山形 真一）

鹿児島医療センター 外来診療担当表(2023年4月)

TEL : 099-223-1151 (代)

2023年4月1日現在

診療科	曜日	月	火	水	木	金
血液内科	初診	大塚 真紀	原口 浩一	鎌田 勇平	大塚 真紀	大渡 五月
	再診	大塚 真紀 鎌田 勇平	大塚 真紀 原口 浩一	大渡 五月 鎌田 勇平	大塚 真紀 原口 浩一	大渡 五月
	移植後フォローアップ外来※	血液内科医師及び看護師(完全予約制)				
腫瘍内科		鈴木 紳介 (初診・再診 午前中のみ)		魚住 公治 (再診のみ)		
糖尿病・内分泌内科		郡山 暢之	児島 奈弥 牧野 美和	郡山 暢之	郡山 暢之 児島 奈弥	郡山 暢之
糖尿病療養指導外来※		糖尿病看護認定看護師				
消化器内科	消化管・胆膵	井上 和彦 梶原 涼	福森 光 和田 峻太郎	福森 光 梶原 涼		井上 和彦 和田 峻太郎
	肝臓	櫻井 一宏	森内 昭博	櫻井 一宏	森内 昭博	櫻井 一宏
腎臓内科		古庄 正英		「手術日」	古庄 正英	
第一循環器内科		中島 均 福永 研西 田方 健人	片岡 哲郎 高崎 州亜	中島 均 野元 裕太郎	中島 均 隈元 健西	高崎 州亜 沖野 秀人
第二循環器内科 *弁膜症外来 火曜日		馬場 善政 園田 幸一郎	田中 康博 東 健作 平峯 聖久	園田 正浩	田中 康博 伊集院 駿	園田 正浩 長野 真二郎 松本 洋之
不整脈治療科		塗木 徳人		塗木 徳人 蔡 榮鴻		塗木 徳人
脳・血管内科		松岡 秀樹 濱田 祐樹 池田 め衣	松岡 秀樹 高口 剛	松岡 秀樹 池田 め衣 西 朝生	松岡 秀樹 濱田 祐樹 岡田 敬史	松岡 秀樹 高口 剛 岡田 敬史
小児科 *心臓健診 月曜日～金曜日		田中 裕治 二宮 由美子 橋本 貴成	田中 裕治 橋本 貴成 二宮 由美子	田中 裕治	田中 裕治 二宮 由美子 橋本 貴成	田中 裕治 二宮 由美子 吉永 正夫
放射線科	放射線治療	上山 友子	上山 友子	上山 友子	上山 友子	上山 友子
	画像診断 CT・MRI・RI	井手上 淳一 薬水流 絵梨奈	井手上 淳一 長野 えりな	薬水流 絵梨奈 長野 えりな	井手上 淳一 薬水流 絵梨奈	井手上 淳一 長野 えりな
心臓血管外科		峠 幸志		金城 玉洋		立石 直毅
外科・消化器外科			塗木 健介 高取 寛之		塗木 健介 高取 寛之 宮崎 俊明	
脳神経外科 *水曜日は、手術日のため外来診療休診		久保 文克	久保 文克	「手術日」	今村 純一 (完全予約制)	松田 大樹
婦人科 *完全予約制		徳留 明夫 牧瀬 裕恵 穂原 光	神尾 真樹 徳留 明夫 穂原 光	「手術日」	神尾 真樹 徳留 明夫 牧瀬 裕恵	神尾 真樹 牧瀬 裕恵 穂原 光
耳鼻咽喉科 *完全紹介制(初めてのの方は医師の紹介が必要です)		松崎 勉 西元 謙吾	「手術日」	松崎 勉 西元 謙吾	「手術日」	松崎 勉 西元 謙吾
泌尿器科 *火曜日は、手術日のため外来診療休診		川平 秀一郎	「手術日」	川平 秀一郎	川平 秀一郎	川平 秀一郎
皮膚腫瘍科・皮膚科		松下 茂人 青木 恵美 西原 克彦	「手術日」	松下 茂人 青木 恵美 佐々木 奈津子	「手術日」	松下 茂人 青木 恵美
眼科 ※ 外来診療のみ		町田 碧	町田 碧	休診	町田 碧	町田 碧
歯科口腔外科		中村 康典 大河内 孝子	中村 康典 大河内 孝子	中村 康典 大河内 孝子	中村 康典 大河内 孝子	中村 康典 大河内 孝子
専門外来※	医師	緩和ケア外来・松崎 勉 がんゲノム医療相談外来・鈴木紳介		腹水外来 櫻井 一宏		
	看護師	フットケア外来 糖尿病看護認定看護師		リンパ浮腫外来 リンパ浮腫指導技術者	ストーマケア外来 皮膚・排泄ケア認定看護師	
セカンドオピニオン外来※		循環器疾患、心臓血管疾患、脳血管疾患、がん、悪性新生物、血液疾患				
『健康診断』			第一循環器内科	第二循環器内科		脳・血管内科
受付 午前8:45～10:00						

受付時間 午前8時45分から11時00分まで
 診療時間 午前8時45分から午後5時15分まで*ただし、急患についてはこの限りではありません
 休診日 土・日曜日・祝日及び年末年始(12月29日～1月3日)
 ※移植後フォローアップ外来・糖尿病療養指導外来・専門外来・セカンドオピニオン外来については完全予約制となっております。事前に電話確認をお願い致します
 *不在予定医師につきましてはお電話またはホームページにてご確認ください
 *歯科診療に関しましては当院入院患者さまのみとなっております
 予約センター
 ・専用FAX: 0120-334-476 ・専用TEL: 0120-680-704

■お問い合わせ先 独立行政法人 国立病院機構 **鹿児島医療センター**(心臓病・脳卒中・がん専門施設)
 〒892-0853 鹿児島市城山町8番1号
 (代)TEL 099(223) 1151 FAX 099(226) 9246 <https://kagomc.hosp.go.jp/>
メディカルサポートセンター
 地域連携室専用FAX▶099(223)1177
 ※休日・時間外は当直者で対応します。

